

GY-HC550 ファームウェアアップデート(V0110)について

追加・変更された機能や表示変更についてのお知らせです。「取扱説明書」とあわせてお読みください。
フレームレートの60pは59.94p、60iは59.94i、30pは29.97p、24pは23.98pをそれぞれ省略しています。

●は初期値です。

1

■FTPの自動分割アップロード機能を追加しました。(HD+Web時のみ)

スロットBのプロキシ記録をあらかじめ設定した時間で自動分割し、記録中にFTPサーバに自動アップロードします。

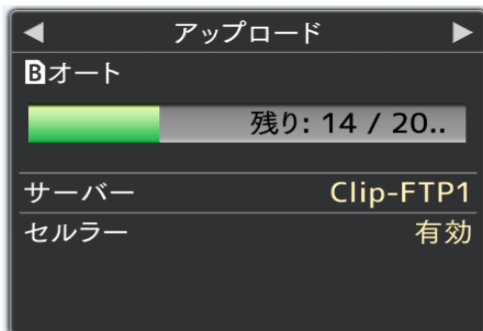
・[システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [システム]が "HD + Web" の時のみ自動分割アップロード機能が使用できます。

・[ネットワーク...] → [アップロード設定...] → [自動アップロード] に "分割" を追加しました。 ※[スロット] は B に固定されます。

[設定値: Off, 15秒, ●30秒, 45秒, 60秒, 90秒, 3分, 5分, 10分, 15分]

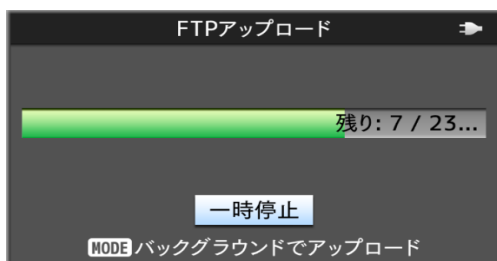
■FTPの自動アップロード機能を改善しました。

・ステータス表示にアップロードページを追加しました。FTP転送の状況が確認出来ます。



DISPLAYボタンで表示されるモニター表示の残量表示は常に記録残量を表示しますので、FTPの転送状況はステータス表示でご確認ください。

・自動アップロード中に記録済みクリップの再生が可能になりました。



自動アップロード中にMEDIAモードに切り替えて一時停止(Pause)をし、サムネイル表示からクリップを選択して再生が可能です。CAMモードに切り替えるとバックグラウンドで自動アップロードが再開します。

・FTP状態表示用アイコンはモニター表示の残時間表示の左側に表示していましたが、残時間の右側に表示位置を変更しました。

・スロットA、スロットBで記録中のスロットでも自動アップロードが可能となりました。

自動アップロード中に、[ネットワーク...] → [アップロード設定...] → [スロット]項目で設定したスロットと同じスロットで記録を開始してもFTP転送は継続されます。

・ライブストリーミング中、Return over IP 中も FTP転送を停止せず継続します。

2

3

■ストリーミング設定に低遅延モードを追加しました。

・[ネットワーク...] → [ライブストリーミング...] → [サーバー] → [ストリーミングサーバー...] に [PCRモード] を追加しました。 ※[タイプ]が“MPEG2-TS/UDP”、“MPEG2-TS/RTP”、“ZIXI”の場合のみ有効になります。
[設定値: ●スタンダード, 高速]

・[PCRモード]を“高速”に設定することにより、遅延量が最小となるようなストリーミング送出モードを利用することができます。本モードは低遅延を優先するため、撮影・ネットワーク環境によっては映像が乱れることがあります。

■Apple ProRes 422 HD記録に対応しました。

・[システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [システム] の選択肢に、“HD (EXT)”を追加しました。別売のSSDメディアアダプター「KA-MC100」を使用することで、高速SSDメモリーに「Apple ProRes 422」のHD記録が可能です。

この設定の場合、

[形式]が“ProRes”に固定されます。

[解像度]が“1920x1080”に固定されます。

■SSDメモリーの記録可能時間のめやす

単位: 分

フォーマット	ProRes				
解像度	1920×1080				
ビットレート	422HQ / 422				
フレームレート	60p	50p	30p	25p	24p
500GB	130 / 200	160 / 240	270 / 400	320 / 480	330 / 500
1TB	270 / 400	320 / 480	540 / 800	640 / 960	670 / 1000
2TB	540 / 800	640 / 960	1100 / 1600	1300 / 1920	1340 / 2000

メモ:

・1回の記録の最大連続時間は4時間です。最大時間で自動停止しますがメディア残量があれば記録操作で再開できます。

・“HD EXT(SSD)”で記録したクリップに対してトリミングを行う際、トリミング範囲が6分以上になると黄色表示となり、トリミングを実行できません。

・“HD EXT(SSD)”時、クリップはKA-MC100に内蔵したSSDに記録しますが、セットアップファイルはSDカードに保存します。

4

■バックアップ記録の保存先に、KA-MC100(別売り SSDメディアアダプター)を追加しました。

・[システム] → [記録設定] → [スロットモード] の選択肢に
“バックアップ [B]”、“バックアップ [EXT]” を追加しました。

“バックアップ [B]”を選択した場合、従来通り BスロットのSDカードにバックアップ記録します。

“バックアップ [EXT]”を選択した場合、KA-MC100に内蔵したSSDにバックアップ記録します。

設定変更時に再起動が発生する場合があります。

5

■DNR(Digital Noise Reduction)の効果設定を追加しました。

・[カメラ設定] → [DNR] を追加しました。

Normal: 通常のDNR効果 映像のノイズを抑圧します。

Low: 弱めのDNR効果 映像のノイズの抑圧は弱くなりますが、微小信号レベルの被写体のディテールが増します。

6

■NTP時刻取得機能を追加しました。
NTPサーバーと同期すると、時刻合わせに使用できます。
また、NTPに同期したタイムコード(TC)をストリーミングに重畳することができます。

[ネットワーク] → [NTP] → [サーバーアドレス] を追加しました。
NTPサーバーアドレスが設定できます。

[TC/UB] → [TC ジェネレーター] の選択肢に“Free Run(NTP)”を追加しました。
“Free Run(NTP)”を選択することで、
タイムコードのNTP同期とストリーミングへのTC情報(メタデータ)重畳が動作します。

メモ:

記録中、ライブストリーミング中は、[TC ジェネレーター]の設定は変更できません。
Free Run(NTP)の場合、ライブストリーミング中は[TC/UB]の設定は変更できません。
また、[システム] → [記録設定] → [記録モード] で、
“インターバルレック”と“フレームレック”は選択できません。

ステータス項目:[Network]に“NTP”を追加しました

[ネットワーク]→[NTP] :NTPサーバー検出同期状態

NTPサーバーアドレス が設定されている場合、NTPサーバとの同期状態が表示されます。

ただし表示の更新に時間がかかることがあります。

お急ぎの場合は一旦電源を切った後、再度電源を投入してください。

[ネットワーク]→[NTP]→[サーバーアドレス] が設定されていない場合

「マスターモード」が表示されます。

ただし、電源投入時にネットワークが接続されていない場合は

「非同期」が表示されます。

LCD:TCロック状態を追加しました。

[TC/UB] → [TC ジェネレーター] が“Free Run(NTP)”且つ、NTPサーバー検出同期状態の場合、
ディスプレイ画面の TCの左側に「L」を表示します。

メモ:NTP時刻を反映したTC(タイムコード)情報は、数フレーム程度の誤差が生じる場合があります。

NTP時刻を反映可能な場合のみ、[システム...]→[日時設定]のUSER2ボタンが有効になります。

■RTMPSプロトコルに対応しました。

RTMPS(RTMP over SSL)プロトコルを用いたストリーミングに対応しました。

・[ネットワーク] → [ライブストリーミング] → [ストリーミングサーバー] → [サーバー1~4] → [タイプ]の選択肢に
“RTMPS”を追加しました。

メモ:

RTMPSの場合、使用可能なライブストリーミングの設定は以下の通りです。

Resolution / Frame Rate / Bit Rate

1280x720 / 30p / 3M、1.5Mbps

1280x720 / 25p / 3M、1.5Mbps

640x360 / 30p / 3M、1.5M、0.8M、0.3Mbps

640x360 / 25p / 3M、1.5M、0.8M、0.3Mbps

7

8

■SRTプロトコルに対応しました。

SRT(Secure Reliable Transport)プロトコルを用いたストリーミングに対応しました。

注)SRTプロトコルとZixiプロトコルは、同時にメニューに表示することができません。
別途プロトコルアップデートを実施して使用するプロトコルを選択してください。
(アップデートの詳細は、プロトコルアップデート案内ページをご参照ください)。

GY-HC500は、Zixiプロトコル非搭載であるため、V0110へのファームウェアアップデートのみでSRTプロトコルが使用可能になります。

GY-HC550は、Zixiプロトコル搭載モデルのため、V0110へのファームウェアアップデート後は、Zixiプロトコルが使用可能な状態です。

SRTプロトコルを使用する場合は、SRTプロトコルアップデートを行う必要があります。

なお、SRTプロトコルに変更後も、Zixiプロトコルアップデートを行うことで、

再度Zixiプロトコルを使用可能になります。

※SRTプロトコルアップデート後は、“Return Over IP”、“クリップアップロード”機能においても

Zixiプロトコルが使用できなくなります。

以下、SRTプロトコルが利用可能状態の場合

・[ネットワーク] → [ライブストリーミング] → [ストリーミングサーバー] → [サーバー1~4] → [タイプ] の選択肢に“SRT”を追加。

・SRTの場合、[ネットワーク] → [ライブストリーミング] → [ストリーミングサーバー] → [サーバー1~4]内で、以下の設定が有効になります。

“接続モード” 接続モード [設定値: Rendezvous、Listener、●Caller]

“ポート” ポート番号 [設定値: 1~●6504~65535]

“帯域幅オーバーヘッド” 帯域超過率 [設定値: 5%~●25%~100%]

“レイテンシ” 遅延量 [設定値: 20ms~●120ms~8000ms]

“暗号化” 暗号化方式 [設定値: ●Off、AES-128、AES-192、AES-256]

“パズフレーズ” 暗号化パズフレーズ [設定値: ●ランダム生成値、10~79文字]

※暗号化が“切”以外の場合に設定可能